

1 テーマやキーワードで本を探す

◆国立国会図書館サーチ(NDL Search) **和 洋** インターネット <http://iss.ndl.go.jp/>

国立国会図書館が提供するサービスで、国立国会図書館が所蔵する全資料に加えて、全国の公共図書館、公文書館、美術館や学術研究機関等の蔵書やデジタル情報を一度に検索することができます。豊富な「知」を活用するためのアクセスポイントとして活用できます。

◆Webcat Plus **和 洋** インターネット <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

国立情報学研究所(NII)が提供する本、雑誌の検索サービスです。

「連想検索」では、入力したキーワードから関連性の高い単語を抽出し、それも含めて検索することで、網羅的で柔軟な検索が可能です。また、「一致検索」では、書名、著者名などからピンポイントに検索できます。

◆bookplus **和** Webデータベース(学内・リモートPC可)

昭和元年より現在までに出版された本の情報(書名、著者名、出版社など)が収録されています。

1986年以降の本には、要旨・目次情報、小説のあらすじを収録しています。さらに、2000年以降の本には、著者紹介情報を掲載しています。

◆CiNii Books **和 洋** インターネット <http://ci.nii.ac.jp/books/>

国立情報学研究所が提供するサービスで、全国の大学図書館等約1200館が所蔵して、NACSIS-CAT/ILLシステムに登録された約1000万件の本の情報や、約150万件の著者の情報を検索することができます。検索した図書・資料がどこで所蔵されているかも知ることができます。

◆WorldCat (OCLC FirstSearch) **洋** Webデータベース(学内・リモートPC可)

アメリカOCLC社の総合データベースFirstSearchが提供するサービスの1つです。

WorldCatは世界最大の書誌データベースであり、12~13世紀の手稿本から、最新の先端技術レポート、CD、DVDといった様々な資料の書誌情報を幅広く収録しています。

◆日本件名図書目録 日外アソシエーツ 1984- **和 参考図書** (上ヶ原B1参考016:619)

日本国内で発行された図書を、それぞれ図書の内容を表すキーワード(件名)から検索できます。1956年以降に発行された図書が対象です。

★地下1階の参考図書コーナー(請求番号:016)には、様々なジャンルに関して、本の情報を集めた参考図書(主題書誌と呼ばれています)があります。ぜひ一度、書架をご覧ください。

◆新書マップ **和** インターネット <http://shinshomap.info/search.php>

新書マップは、新しいスタイルの読書案内を提供するシステムです。入手しやすく読書の基点とするのに適当な新書・選書を対象にしています。各テーマについて、関連する本のリスト、本の概要や目次、それらを読み解くための読書ガイドが付けられています。



2 関西学院大学図書館にある本を探す



(1) 「OPAC (オンライン目録)」を使って本を探す

◆OPAC (オンライン目録) **和洋インターネット** <http://opac.kwansei.ac.jp/webopac/>

「OPAC」は、関西学院大学図書館をはじめ西宮上ヶ原、神戸三田、そして西宮聖和キャンパスで所蔵している図書・資料を探すための検索システムです。

探したい本の「書名」、「著者名」などのキーワードを手がかりに、その本が図書館にあるかどうか、ある場合は本の置いてある場所「配架場所」や「請求番号」等がわかります。

詳しい使い方については、OPAC 画面の **！ 利用方法** ボタンを押すか、図書館で配布している冊子「**蔵書検索ガイド**」をご覧ください。

(2) 直接、図書館の本棚を見に行ってみる

大学図書館の本は、その内容やジャンルによって番号「分類番号」がつけられています。各階の本棚には、その分類番号が表示されているので、探したいジャンルの番号がわかれば、関連する本をまとめて見つけることができます。

分類番号と配架場所 ⇒館内には番号表の掲示があります。本棚の側面にも番号が書いてあります。OPAC から図書分類表を見ることができます。



3 読みたい本が図書館にない場合

(1) 大学図書館間の相互利用制度を使う

他の大学図書館等と相互協力の協定を結んでおり、本やコピーを取り寄せたり、訪問して資料を利用することができます。

申込手続きはレファレンスカウンターで行っています。

⇒ 詳しくは **図書館の歩き方 7 「相互利用制度」** をご覧下さい。

(2) 公共図書館を利用する

本の種類によっては、都道府県立、市町立の図書館で所蔵されていることがあります。インターネットで公開されている各図書館の蔵書検索や電話による質問で、本を調べることができます。実際の利用については、それぞれの図書館に直接お問い合わせください。

図書館リンク集「公共図書館」(日本図書館協会)

<http://www.jla.or.jp/link/link/tabid/172/Default.aspx>

(3) 購入希望制度を利用する (学部生・大学院生のみ)

学習や研究のために必要な本が大学図書館にない場合は、レファレンスカウンターでご相談ください。できる限りの範囲で購入し、要望にお応えいたします。

ただし、購入して利用できるようになるには、1 ヶ月程度 (和書の場合) かかります。